

Omake no いっぱ

No. 96

p2. 特集「宇宙」

p7. さんまくんのほんぼこ

p9. お知らせ

p10. 編集後記



宇宙

「古生物学は地面だけ見ていればいい訳じゃない」

約 6600 万年前、メキシコのユカタン半島に直径 10km ほどの小惑星の破片が落ちた。

これが有名な白亜紀最末期に恐竜の絶滅を引き起こした出来事で直径 160km ものこのクレーターは Chicxulub crater(チクシュループ・クレーター、またはチュチュラブ・クレーター)と呼ばれている。

この一発で地球上の約 70%、鳥類を除く恐竜を全て滅ぼし同時期の爬虫類、哺乳類にも大打撃を与えた訳だがこの隕石がどこから来たのかは立証されていなかった。

火星と木星の間にある小惑星帯からだろう、と言う予測はついていたがそれを確かめる術がない。だが、それを可能にし、地球上に降る隕石と小惑星の成分が同じである事を立証した探査機がある。

2010年6月13日に地球へ小惑星イトカワのサンプルを届けた(MUSES-C)はやぶさである。

これは宇宙工学だけでなく地球科学としても大きな成功だった。東京多摩六都科学館で化石展をやった際もはやぶさの快挙を大きく扱っていた。

現在ははやぶさ2が小惑星リュウグウでサンプルリターンプロジェクトが進行中、地球上で初めての生命を産み出した由来の成分が小惑星から来たものかどうかを調べている。

リュウグウ上空にはたどり着いたはやぶさ2、今後の報告が楽しみである。



「宇宙のこと」

私は宇宙が好きです。

なんでかという、宇宙の無重力空間が楽しそうだからです。

それから気になって宇宙の本をいくつも読んでみました。

もっと宇宙が好きになりました。

いつか宇宙旅行に行ってみたいです。

「星空を見上げ」

宇宙というと、果てしない、遙か、未知……。そんなイメージを持つ私です。そしてそれについて調べたことはなく、知識はほぼありません。

その上で星空を見上げてみても、やはりその巨大さ、遙か彼方の星々に驚きます。

だってほら、太陽みたいに光る星がだよ？

あんなに小さく見えて、そしていくつもあるんだよ？

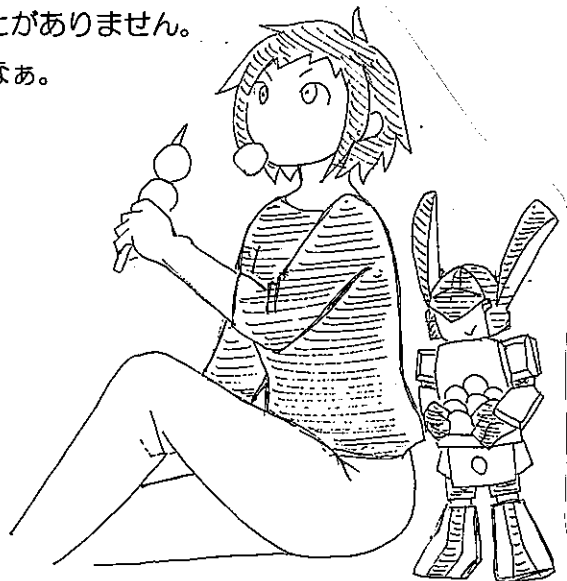
すごくない？

……え？

都会で見える星がすべてじゃない？

写真や言葉で聞いたことはあるけど、いわゆる「満天の星」……数え切れないほどの星々が広がる空……見たことがありません。

いつか見てみたいなあ。



「冥、おぼえていますか」

「水金地火木土天海」、それぞれ水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星と、太陽に近い順番に並べられた太陽系の惑星である。

皆さんはこのように太陽系の星を暗記した記憶はないだろうか。そしてこれを聞いて思い出す人は何人いるだろうか。今では8つ、しかしかつては9つの惑星があったことを。「水金地火木土天海…冥」。そう、冥王星である。

冥王星は1930年に発見された第9惑星……だったのは2006年までの話である。惑星には3つの定義がある。

- ①太陽の周りを回っている。
- ②十分重く、重力が強いため丸い。
- ③その軌道周辺で群を抜いて大きく、他の同じような大きさの天体が存在しない。

ところが冥王星には冥王星の直径の半分以上の大きさがある月（衛星）が存在しているのだ。巨大すぎる衛星が原因で定義③に引っ掛かってしまい、冥王星は惑星からふたつの惑星が重心を共有して公転する二重惑星、「準惑星」と分類し直されてしまった。

ちなみに冥王星の名前は、ローマ神話に登場する冥府（日本で言う地獄）の神プルートから由来されているが、冥王星の準惑星の分類見直しがきっかけで海外では格下げされることを「プルート」と呼ばれるようになったそうだ。

惑星の地位を奪われ、格下げの代名詞にもされた悲しき星、冥王星。あなたが準惑星になってから12年の時が過ぎてしまった。冥王星が太陽系の一員だったことすら知らない世代も生まれるだろう……。

だがここで朗報である。あくまで噂だが、なんと冥王星が太陽系の惑星の地位を取り戻すかもしれないのだ。そもそも惑星の定義自体、まともに研究されるものではないらしく、定義もかなり大雑把なものだそうだ。近々研究チームによる見直しがされ、その過程で冥王星が惑星に返り咲く可能性があるらしい。

がんばれ冥王星、太陽系に舞い戻れるその時まで。



「スペースオペラが苦手な私からそれが好きなあの人へ」

告白せねばなるまい。

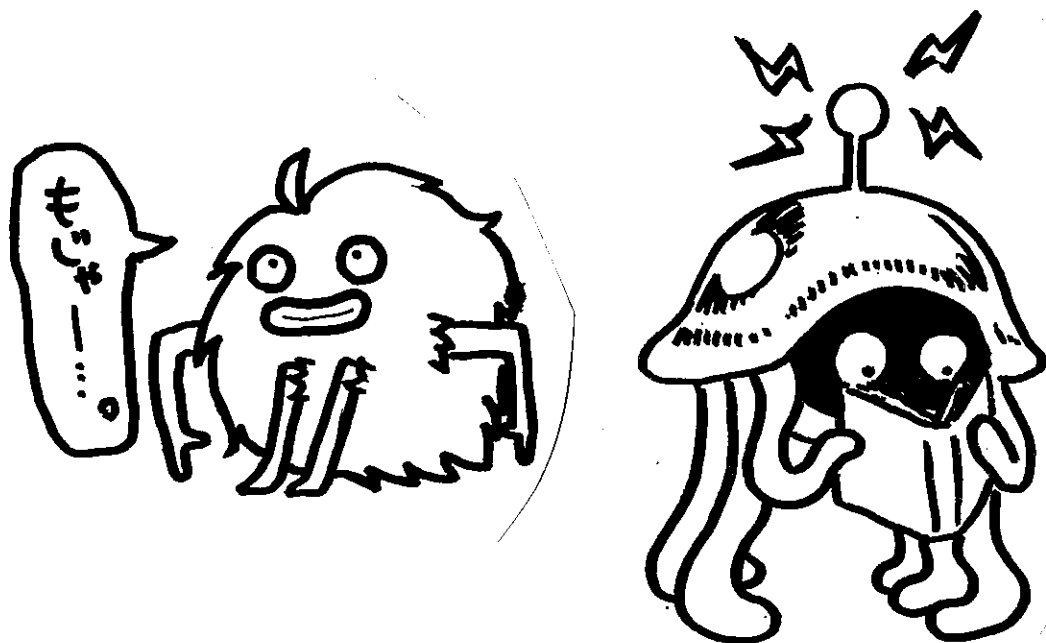
実は私はスペースオペラが苦手だ。より正確には、地に足のついていないSFやファンタジーものが受け付けられないのである。しかしながら、ロマンスストーリーは好きだ。

その一方で私の女友達は、スペースオペラが大好きだが、いわゆる「チートもの」が大嫌いという。もちろん、それぞれの許容範囲というものはある、そこを否定するわけでないし、それをするとするのはいささか子どもっぽいものでもある。

そんな二人が先日久しぶりに熱い議論をやった。二人とも笑顔で楽しい言葉をやり取りしているのでケンカをした、訳ではない。

でも、地に足のついたストーリーングじゃなきゃ嫌よねと言う部分では二人は好きなものが重なる。

重力の井戸の底で自分の全能感丸出しの人間ほど、宇宙って似合わないよねとは彼女の弁だが、それには納得する。多分、星を見ることがと無重力の中で自分を見失わないことが大切だと、彼女は思っているだろうから。



「あの星はどのくらい遠くにあるのか？」

木星は地球から7億キロメートルくらいの距離にあるそうです。非常に遠いですね。これを聞いて「そうなんだ」と感心する人だけでなく「本当にそうなのか？」と疑問に思う人もいます。

では、そんな長いものをどうやって測ったのでしょうか？

国立天文台の記事によると、およそ100光年（約1000兆キロメートル）までの星であれば、三角測量で測定できるとのことです。

太陽系において、太陽から最も遠い海王星が1光年よりはるかに短いので、太陽系の星はこの方法で測定できそうです。

ところで、三角測量とは三角形の関係を使って距離を測る方法です。（詳しくは国立天文台の記事に解説があります）

高校数学で三角関数を取り上げられますが、これを使うことで数式を立てて計算することができます。

計算に必要な数値は、理科年表やインターネットから調べることができるので、興味がある人は本当にそうなるか確かめてみるのもいいと思います。

「ことばの宇宙」

現代の覇権言語ともいえる英語ですが、同じ意味や物体を言い表すのに、複数の単語（名詞）があるイメージがあります。

特集テーマの「宇宙」の英訳は何でしょう？

space、universe、cosmos、パツと浮かぶのはこの辺りですね。

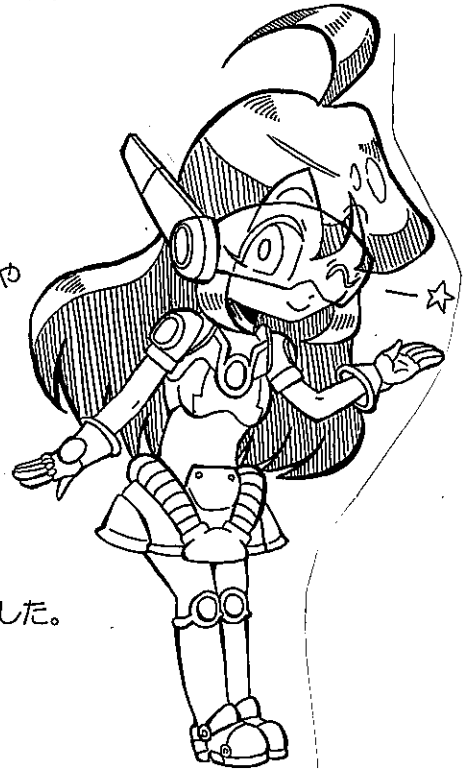
気になったのでこれらの単語の違いを調べてみました。ざっと、

space：空間の広がりとしての「宇宙」

universe：学術的な側面で使用される「宇宙」

cosmos：概念としての「宇宙」（カオスの対義語）

といったところでしょうか。深いですね。





さんまくんのほんばこ

『丸太町ルヴォワール』

円居挽／講談社／2012年

『ぼくの初恋にまつわる話をしましょうか。』

物語は、容姿端麗頭脳明晰な御曹司、城坂論語の独白に始まる。3年前、当時盲目であった論語が謎の女性“朽紅のルーシュ”に恋に落ちたその日、論語の祖父が急死。彼は殺害の嫌疑で糾弾されることとなったのであった。

舞台は京都。双龍神社では伝統的な私的裁判、『双龍会』が開かれる。京大法学部の御堂達也は、次の双龍会において論語を擁護する立場「青龍師」をつとめる旧友の瓶賀流から、3年前の事件について捜査をしてほしいと頼まれる。手がかりは論語の思い出の中だけに存在する女性“ルーシュ”だけ。論語を糾弾する「黄龍師」をつとめる強敵、龍樹姉弟の弁舌と画策に、流たちは勝つことができるのか。

本作は推理対決もののミステリに分類されるだろう。双龍師、龍樹落花の相手に反論を許さない艶やかな答弁は読者をうならせる。論語のユーモアととげのある台詞まわしも負けじと魅力的だ。双龍師にあたえられる二つ名であったり、論理戦法に古風な技名がつけられていたり、エンタテインメント性にも富む。青と黄双方の双龍師による議論により見え隠れする事件の真相に読者はとりつかれ、そしてどんでん返しの結末に驚くはずだ。

ミステリの側面が大きなこの物語、だが同時に、一人の青年の、ロマンあふれる恋の物語であることも確かである。京都の雅な香りと、苛烈な論弁バトルの熱を、是非、読書の時間に堪能あれ。



『美しい星座絵でたどる 四季の星座神話』

沼澤茂美・脇屋奈々代／誠文堂新光社／2014年

宇宙には無数の星が輝いている。人は古くから星と共に生きてきた。

人は星から、時と場所を把握し、時に物語を描いた。

この本ではそんな先人たちが描いた、星々の物語、星座神話の数々が紹介されている。

全天で2番目の大きさを持つおとめ座、天の川が最も明るいところにあるいて座、山羊と魚が合体した姿を描いたやぎ座…など、それぞれの星座とそれに由来する神話の物語が美しいイラストと共に読むことができる。

星の輝く夜は、是非この1冊をお供に。

『NHKみんなのうた 40周年ベスト vol.1』

CD／2001年

みんなのうた、好きですか？

短い中にも、覚えやすく心地よいメロディがたくさんみんなのうた。

そんな曲のCDは意外にもたくさんあります。

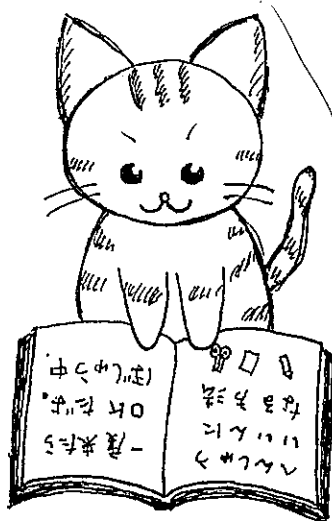
今回紹介のこのCDは、みんなの歌の中でも昔の曲。

生まれる前に放映されていた曲ばかりだけれど、聞いたことのある曲もたくさんあると思います。

みんなのうたが好きな方。

シリーズのCDは他にもたくさんあるので、ぜひ聞いてみてください。

知らなかったけれど好きになる曲、あるかもしれませんよ。



今号の編集メンバー：あまみ、kuya、芹が谷、谷月、あお、みかげ、みゆん、mu_min、
たーた の皆様

「OMAKE no いっぽ」編集委員・投稿募集中!!!

あなたも YA 広報誌「OMAKE no いっぽ」の編集会議に
参加してみませんか？

編集に興味のある人、イラスト、まんがを描くのが好きな人、
みんなと何かしてみたい人など、大歓迎です。

会議に出られなくても大丈夫。原稿は郵送でも受け付けています。興味のある人
は問い合わせしてみてください。

イラスト、ポエム、エッセイ、本や CD の紹介など、何でも OK。企画の持ち込
みも受け付けます。投稿の際は、お名前（ペンネーム）も忘れずに。

なお、紙面の構成によってサイズを縮小して掲載することがあります。
本誌への、ご意見やご感想もお待ちしています。

全ての申込み・投稿・問合せは、下記八雲中央図書館 YA サービス担当まで
どうぞ。

平成30年度に発行する号の編集会議等の予定（毎月第3土曜日を予定しています）

日時

	会議内容／発行号	95号	96号	97号
第1回	特集等の内容と担当決め	4月21日	8月18日	12月15日
第2回	文字原稿締切・校正	5月19日	9月15日	1月19日
第3回	すべての原稿の締切	6月16日	10月20日	2月16日
第4回	折り作業、発行・配付	7月21日	11月17日	3月16日

場所 八雲中央図書館内の会議室で行います。

（めぐろ区民キャンパス、地下1階の図書館に入り、YAコーナーの奥の部屋です。）

事前予約不要です。直接会場に来て、編集会議にご参加ください。

お待ちしております。

お問合せ・お申込み・ご意見・ご感想は、

八雲中央図書館 YA（ヤングアダルト）サービス担当まで。

目黒区立図書館 YA 広報誌「OMAKE no いっぽ」第 96 号

2018 年 11 月 発行

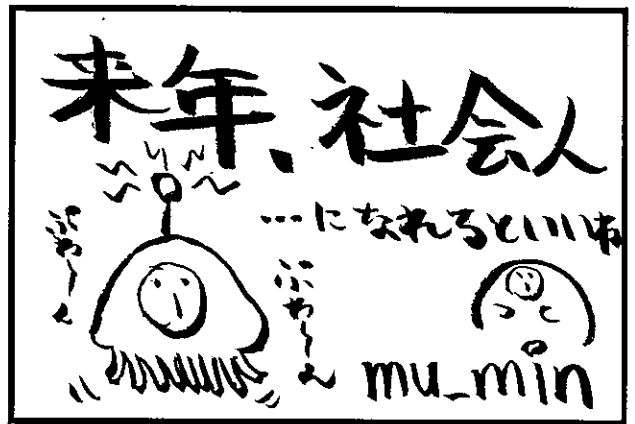
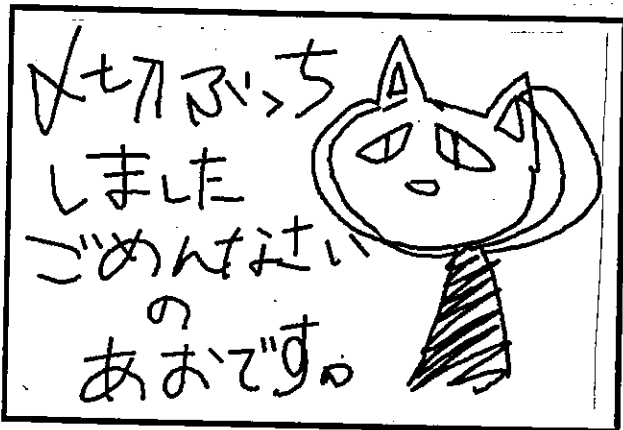
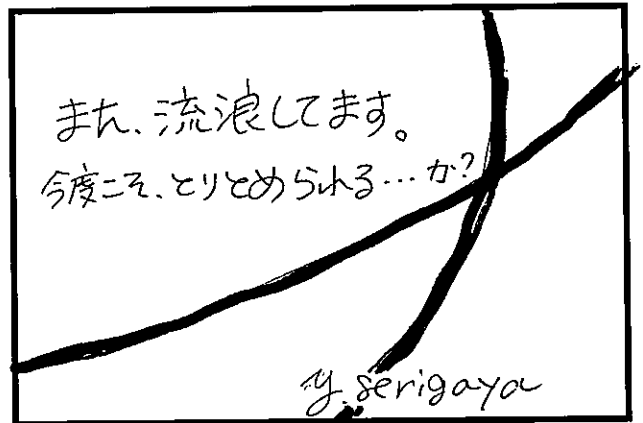
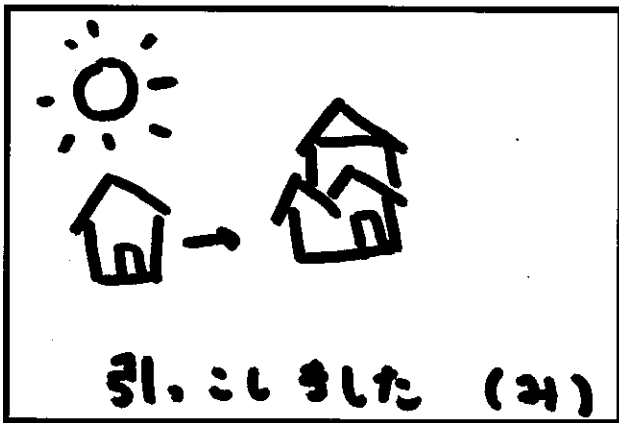
編集：「OMAKE no いっぽ」編集委員会

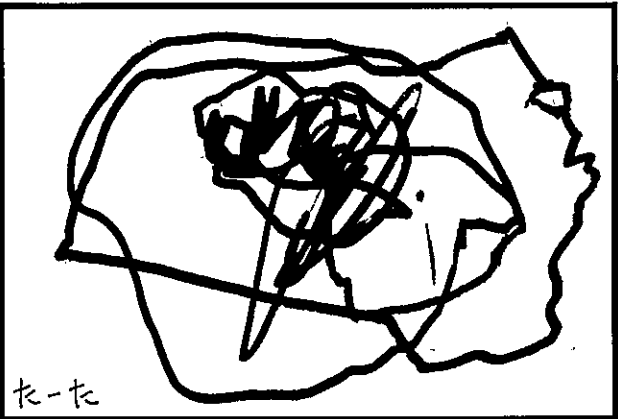
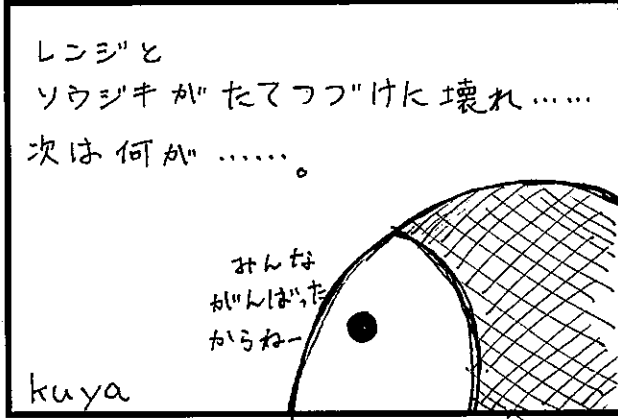
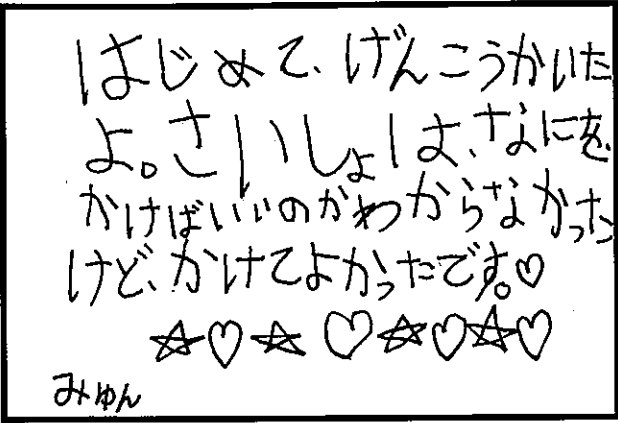
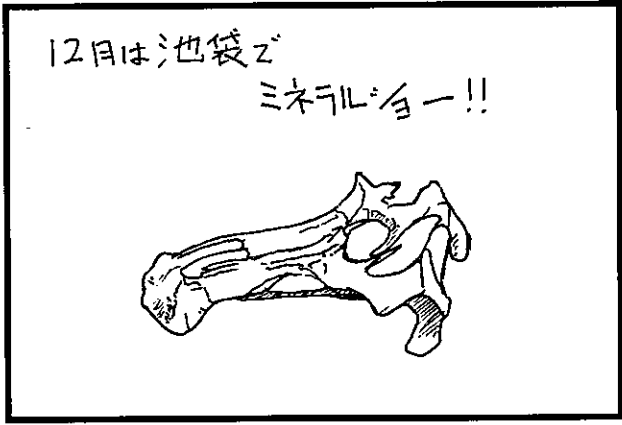
発行：目黒区立図書館

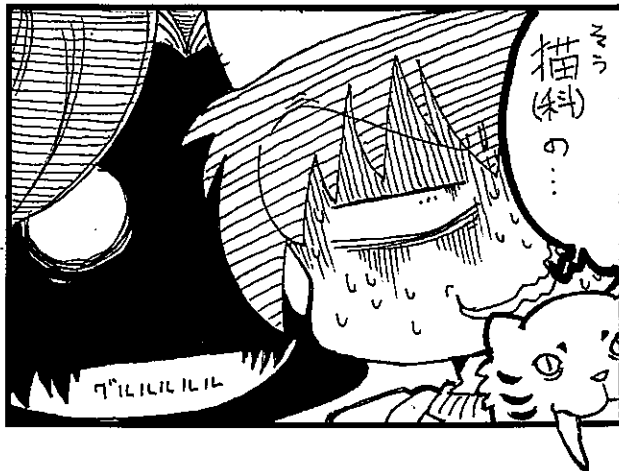
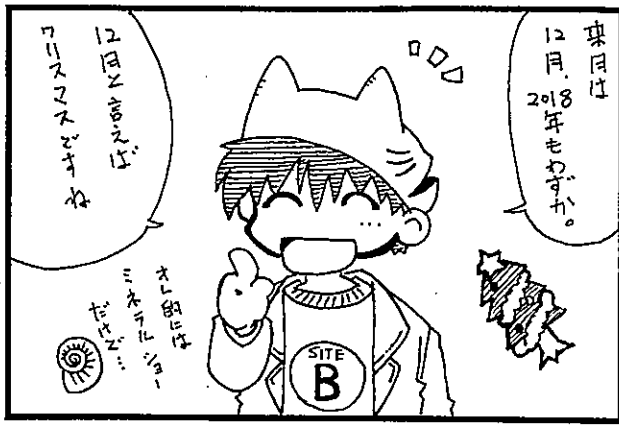
目黒区立八雲中央図書館 YA（ヤングアダルト）サービス担当

〒152-0023 目黒区八雲1-1-1 Tel.(5701)2795

「系編集」 ★ 「後記」







おまけ OMAKE



mu-min